



# 干潟小だより

11月号②  
R2. 11. 13.  
児童数：263名



校訓 拓き 輝き 高め合う 干潟っ子  
学校教育目標 考える頭 元気な心 強い体

11月も中旬になると、朝夕はめっきり寒くなり、秋の深まりを感じます。木々の紅葉が秋の彩りを添え、四季の移り変わり、自然の豊かさなどを感じることが出来ます。

さて「芸術の秋」にちなんで、校長室にある書道の作品をご紹介します。 作者は、古橋重雄【飛山】先生（右の写真）（1910~2004）。萬力・二（八軒町）の方で、ご苦労されながら勉強し、小学校の教員として、また、書道家としてご活躍された方です。温厚で誰にでも平等に優しく指導し、多くの門下生を育て書道芸術の発展に力を尽くしたとのこと。



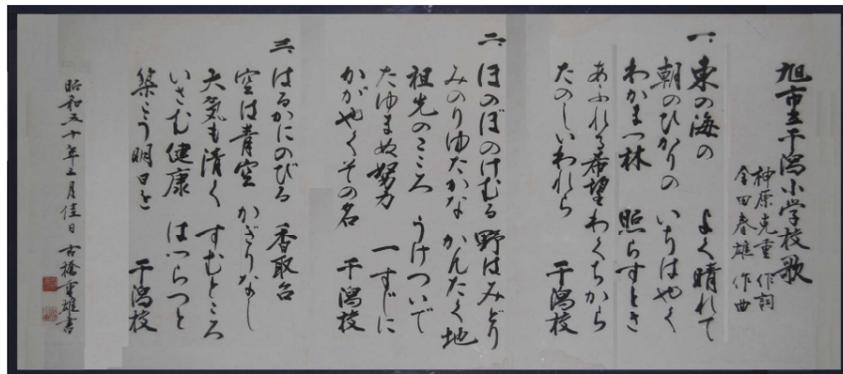
(H29「あさひ 輝いた人々」より)



校長室にある額には、「脩道之謂教（道をおさむる これを教えという）」（中国古典『中庸』の一節）と書かれおり、「人が歩まねばならない道を修めるのが教育である。道とは目標に到達するための歩みの過程であり、その道を学問によって学ぶ。」ということが書かれています。改めて、長い間、教育にたずさわった古橋先生の思いが、この書と重なって、児童一人一人の人生の目標を達成するために、学校での学問との出会いを大切にしていきたいと感じました。

この書と重なって、児童一人一人の人生の目標を達成するために、学校での学問との出会いを大切にしていきたいと感じました。

この書の他にも、古橋先生が書かれた素敵な校歌が飾られています。



「収穫の秋」。2年生が畑でサツマイモほりを行いました。おいしいお芋ができたかな、味見が楽しみです。

「秋の日はつるべ落とし」と言われます。11月の日没時刻は16：30頃で、早く暗くなります。寄り道をせず、交通事故等に注意し帰宅するよう、ご家庭でもお声かけをお願いします。



## 校外学習に行ってきました

11月2日（月）に1年生全員で、生活科の学習の一環として、東庄町にある「県民の森」に行ってきました。秋山にある木の実を取ったり、広場で遊んだりして、歓声をあげながら楽しむ姿が見られました。おいしい弁当やおやつをほおぼりながら、笑顔いっぱいの1年生。充実した校外学習になりました。



11月10日（火）に5年生全員で、千葉市にあるJFE スチール株式会社東日本製鉄所に見学に行きました。社会科の学習です。製鉄所では、肌で熱を感じながら、真っ赤に燃えている鉄の板（スラブ）が作られていく様子を見学するなど、普段できない体験をすることができました。帰りに紅葉の公園でみんなで食べた弁当も格別でした。



## コロナ禍の行事への取り組み

学校では、マスク着用・手洗いの励行に取り組みながら、各関係機関の情報を得て、できる行事をできる範囲で行うよう様々な工夫をしながら活動に取り組んでいるところです。当面は、コロナ対策を行いながら、学校行事を実施していきます。

しかし、コロナ感染の第3波が来るだろうという報道や、冬の季節とともにやってくるインフルエンザの流行時期と重なることを考えると、油断することはできません。お子様がかぜ症状の場合は無理せず、学校にご連絡ください。

## 読書の秋・図書室より

全国の小学校で、本年度から新しい学習指導要領が実施されています。詳細は12月に手紙でお伝えしますが、学力の3要素を構築する基盤の一つとして、「言語能力の育成」があげられます。しかし、ICTの利用で、映像など視覚からの情報は得やすくなりましたが、視覚からの情報と言葉との結び付きがどんどん希薄になっているのも事実で、日常の中で、文章内容を捉える機会が減る傾向にあります。

言語能力を育成するために、コロナ禍の今だからこそ「読書」は有効な手立てであるといえます。まずは好きな本をただ読むことでよいのです。とにかく読む時間をちよとずつとることです。本校には蔵書が8673冊あります。新刊も入りました。図書館司書の大木さんに助言をいただきながら、本にふれる機会を作っていきたいと思っております。ご家庭でも10分、15分の時間を読書に当ててみませんか。